

寒冷地形談話会通信

91年第5号 92/02/25発行

事務局／〒192-03 東京都八王子市南大沢1-1
東京都立大・理・地理院生室 0426-77-1111 (内3836)

1. 11月例会の報告

11月9日、明治大学で下記の発表が行われました。

▽小林政能(千葉大・院)：「赤石山地南部の稜線付近に存在する線状凹地の分布と形態」

赤石山地は線状凹地の分布密度が全国的にみて著しく高くなっている(八木、1981)。その赤石山地南部にある井川湖を挟む稜線付近に存在する線状凹地の調査を行なった。調査は線状凹地の分布高度としては比較的低い標高 1,200 ~ 2,000 mを対象に行なった。

線状凹地の分布と形態を把握し、それらを支配する要因について考察することを目的とし、調査内容は線状凹地の方向性、分布、形態および内部構造である。

①線状凹地は周辺の地形と対応した山体表層部の変化が地表形態に現れているものとみなせる。
②隣接している凹地にもかかわらず、発生時期と発生時の形態に差がある凹地がある。
③線状凹地の形成は地形的要因に規定されやすく、地質的要因は凹地の規模などを規定する要因である。
以上の結果が得られた。 【とりまとめ：小林】

▽澤口晋一(明治大・学振)：北上川上流域における最終氷期後半の化石周水河現象～形成期と古環境～

北上川流域では従来から最終氷期後半に降下・堆積した火山灰層中に高い頻度でインボリューションが観察されることが知られてきた。しかし、その形成期については漠然としており、詳しく検討されていない。そこで、示標テフラや埋没腐植土の放射年代を手がかりにインボリューションの形成期を検討したところ、15~23 Ka ごろであることがわかった。

一方、インボリューションの成因や形成環境は現在よくわかっていないため、これから形成時の古環境を推定することは困難である。この場合、成因や形成環境の明らかにされている周水河現象・地形の化石型を発見することが必要であろう。この観点から本地域での調査を続けた結果、ソリフラクション・ロープおよび階状土の埋没化石を発見することができた。それらは周水河性の物質移動が卓越する斜面に発達することが知られており、北上川上流域における最終氷期後半(極相期)の古環境を議論する上でも重要な指標になると思われる。

【とりまとめ：事務局】

2. 1月例会の報告

1月25日、明治大学において下記の発表が行われました。

▽小泉武栄(東京学芸大)：「カナダ、北極圏エルズミア地域の地形と植生」

カナダ北極圏に位置するエルズミア島に見られる氷河および氷河地形、周水河地形、矮生植物、哺乳類、昆虫など自然地理を幅広く紹介し、あわせて、現地には滞在する研究者の気象観測や植物調査の様子が伝えられた。フィヨルド兩岸の谷壁斜面の植生の違いは、地質の違いに起因する礫生産の様式の違いが関与していることが示唆され、今後の調査の進展が期待される。

【とりまとめ 事務局】

▽三浦英樹(都立大・院)：「北海道北部の化石楔状構造の記載と解釈について」

北海道北部で観察された化石楔状構造の成因について検討した。現成の永久凍土地域から報告される活動層の層厚や楔の深度・間隔の関係との比較から、その多くはアイスウェッジカストと考えるよりはソイルウェッジと判断された。特に、化石楔状構造の成因や古気温の復元は、割れ目を形成する冬季の気温の低下と活動層の層厚を決める融解積算温度を分離して考える必要があることが強調された。

【とりまとめ 事務局】

3. 3月例会のお知らせ

1992年度の3月(最終)例会が下記の要領で開催されます。宮崎氏は北半球の永久凍土地域を対象に永久凍土の分布と植生帯、気候条件などの関係を検討されています。田中氏には白頭山の自然について、スライドを交えながら紹介していただく予定です。また、吉川氏には南極調査の結果をご報告いただきます。会員各位ふるってご参加下さい。

- ◆宮崎進平：「連続的永久凍土の分布と気候条件との関係」
- ◆田中幸哉(東京大・院)「白頭山の自然について：紹介報告」
- ◆吉川謙二(北大・院)「南極エルスアース山脈環境調査隊報告」

会 場：東京大学本郷キャンパス 理学部(2号館)地理学教室にて

時 間：15:00～ **3月7日(土)に行ないます。**

4. "奥多摩の積雪をみる" 巡検のお知らせ

[清水長正会員より下記巡検のお知らせを受けましたのでお伝えします。]

太平洋側山地の積雪観測例はきわめて少ないのが現状ですが、奥多摩・鷹ノ巣山での観測例があります(下川・清水、1989)。今回、「秋川の自然に親しむ会」主催の巡検を下記の要領で行ないますので、参加希望者は清水までご一報下さい。

- ◆日 程：92年3月22日(日)
- ◆集 合：午前9時、JR青梅線奥多摩駅前
- ◆行 程：奥多摩駅→奥部落(峰谷川源流)→鷹ノ巣山
- ◆持ち物：1/2.5万「奥多摩湖」、昼食、
- ◆問合せ：〒151 渋谷区代々木5-64-7-502 03-5478-8324 清水長正

5. 地理学会での集会について

例年どおり、日本地理学会会期中に当会の小集会を行ないます。集会会場は学会期間中、適当な場所に掲示しますのでご覧ください。研究発表は行ないませんが、91年度会計報告や今後の活動方針、92年度事務局の選出などを行ないます。また懇親会も実施する予定です。

- ◆日 時：92年4月2日(木) 一般研究発表終了後(午後3時前後)を予定
- ◆学会会場：中央大学理工学部 東京都文京区春日1-13-27

6. その他

①新入会員(91年10月以降)

・広瀬 哲[(株)ゼンリン]：松戸市大金平1-30-1 ゼンリン松戸寮 0473-46-0818

②1月例会および3月例会記事、92年度会員名簿などは3月下旬ごろ発送します。

③91年度会費未納の会員は早急にお支払い下さい。今年度は会費納入状況が悪く、半数弱の方が未納です。振込先は下記のとおりです。

寒冷地形談話会 東京0-171342 1,500円/年

④迷子郵便が増えていきます。異動の節は事務局までご連絡を……。